

| | | | |
|----------------------|------------------|---------------------------------|-------------|
| 【教科】社会科（公民的分野） | 【日時】 2月 6日（金）5校時 | 【生徒】3年 1組 35名 | 【授業者】 酒井 大貴 |
| 江戸川区立小松川中学校 研究発表公開授業 | | 「誰ひとり取り残さない、生徒一人一人の学力向上を図る教育実践」 | |

| | | | | |
|--|--|----------------|---|---|
| <p>【単元名】なぜ裁判員制度があるのだろう。 (全2時間)</p> <p>【単元目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本で裁判員制度が取り入れられている理由を考える。 | | 学習過程 | ○主な学習活動・予想される生徒の気付きや反応 | ☆指導上の工夫 |
| | | 導入 5分 | ○裁判のしくみを復習する。 | ☆隣の生徒と思い出しながらクイズ形式で答える。 ☆答えられない場合は、隣の生徒からヒントを出すことや過去のノートを振り返る。 |
| | | 展開 35分 | <p>○NHK for school の「三匹のこぶた」を視聴する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 動画を見ながら検察側と弁護士側の主張をメモする。 <p>話し合い：集めた証拠をもとに判決を下す。</p> | ☆「三匹のこぶた」の内容を簡単に確認する。 ☆動画を見る前に公正・中立な立場に立ち、「疑わしきは罰せず」の原則について確認する。 |
| | | | <p>○4人班で動画を見てメモした内容を共有し、班で1つの判決を下す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 簡単に動画の内容を確認する。 <p>○班で決まった判決を発表する。</p> | ☆メモした内容をパワーポイントにまとめ、どのような意見が多いのか、可視化できるようにする。 ☆判決は必ず話し合いで決める。 |
| | | まとめ 10分 | ○模擬裁判を経験して、なぜ裁判員制度があるのかを考える。 | ☆実際に行われた裁判について触れる。 ・死刑が破棄された裁判 |

| 次 | 学習内容（時数） ◎本時 |
|---|-----------------------|
| 1 | 犯罪や刑罰の種類の確認、裁判員制度について |
| 2 | 模擬裁判 |
| | |

| |
|--|
| <p>【本時の目標】（ 2 / 2時）</p> <p>模擬裁判で裁判員制度が取り入れられている理由を考え、書くことができる。</p> <p>【本時の評価】</p> <p>動画を見て、自分の意見を公正・中立の立場から考えることができる。（観察・ワークシート）</p> <p>模擬裁判を通して、裁判員制度が導入されている意義について考えることができる。 (観察・ワークシート)</p> |
|--|